

綾部市上下水道審議会議事要旨

- 1 日 時 令和5年12月18日（月） 午後1時30分から
- 2 場 所 市役所第1委員会室（本庁舎3階）
- 3 出席者 委 員 上野 司、平野 正明、朝倉 正道、土井 渡、中西 朋子、
由良 茂文、泉 朝子、吉崎 ゆかり、大石 浩明
事 務 局 上下水道部長 小林 浩子、上下水道部次長 十倉 和寿、
下水道課長 野々垣 政明 ほか8名

4 審 議 会

(1) 開 会

(2) 市長あいさつ

(3) 会長あいさつ

(4) 議 題

十倉次長：

資料1「令和4年度上水道事業会計決算について」説明

(質疑応答)

・土井委員：

令和4年度決算において、薬品費が給水量に対して増加している理由は。

・十倉次長：

年間総配水量の増加により薬品を多く使用したため。また、薬品単価の値上がりによるもの。

薬品としては消毒に使用する塩素剤と、水の中の汚れを固めて凝縮させる凝集剤があります。その凝集剤の使用量の増加による。

・上野会長：

令和4年度決算において修繕費が増加しているが、特に大きな修繕箇所は。

・十倉次長：

川糸町の丹波大橋に添架している水道管の漏水事故の修繕。

・上野会長：

災害による水道施設の修繕等の影響は。

- ・十倉次長：

令和4年度においては大きな災害はなく影響なし。

野々垣課長：

資料2「令和4年度下水道事業会計決算について」説明

(質疑応答) なし

十倉次長：

その他 資料3「長期収支表(上水)」説明

(令和2年度に答申を行った水道料金の財政状況の検証として)

(質疑応答)

- ・上野会長：

現時点では料金改定の必要はないが、令和7年度には見直しをすとの結論でよいか。

- ・十倉次長：

財政計画期間の令和7年度末において、資金が6億円余り残ることなので、令和5年度においては、料金について見直しの必要はないと考える。

- ・小林部長：

通常、運転資金としては2～3億円程度必要である。

現時点で、令和7年までの料金算定期間の間では6億程度の運転資金がある。その後、8年～9年度末においても4億程度の運転資金が見込まれるので、現時点での料金改定の必要は生じていない。

しかし、次期料金算定期間の令和8～12年度については、最終年度で運転資金が2億円を下回っており、令和7年度に改めて上水道料金のあり方について検討していくことになる。現段階では、令和7年度の料金改定のあり方を検討する際には、上水道料金の改定について検討をお願いすることとなる。

上野会長：

そのほか上下水道事業に関することで何か質問、意見があれば。

(質疑応答)

・土井委員：

工業団地の第2浄化センターへの統合はいつになるのか。

・小林部長：

工業団地水処理センターの第2浄化センターへの統合の件については、災害等によりいったん事業を保留とする状況もあったが、現在は統合に向けた検討を進めている。

統合することが決まれば、改めて工業団地の事業所の方に説明する予定。

・十倉次長：

今年度創設した水道未普及地を対象とした飲用井戸等整備事業費補助金の使用状況について報告。

飲用井戸等整備事業費補助金 申請5件、うち完了3件

水質検査費補助金 申請、完了4件

(7) 閉会あいさつ 小林上下水道部長

終了：午後2時25分